

鵜飼

平田和彦（北海道大学 水産科学院／日本海鳥グループ）

日本古来より伝わる漁法、鵜飼。今日では主に観光事業として西日本を中心に行われている。私たち鳥学会員にとって、バードウォッチングや研究の対象として野鳥のウを観察する機会が多いが、鵜飼の様子やその歴史的・文化的な背景などを学ぶ機会は滅多にない。本自由集会は、長良川や木曾川など鵜飼が盛んな中部地方での鳥学会大会開催を機に、この伝統漁について様々な角度から知識と関心を深めることを目的とする。

1. 野生カワウの河川での採餌生態

山本麻希（長岡科学技術大学 工学部生物系）

2. 「人鵜一体」の歴史と長良川鵜飼

大塚清史（岐阜市歴史博物館）

3. 若いカワウを飼い慣らすテクニック－中国の鵜飼い漁の事例から－

卯田宗平（東京大学 A S N E T機構／東洋文化研究所）

4. 鵜飼の環境デザイン

柳田良造（岐阜市立女子短期大学 生活デザイン学科）